

ストレスケア病棟は「社会とつながる場」なんです。

今回、伊藤隼也は精神科救急医療施設・草津病院（広島県広島市）を訪問。早くからストレスケア病棟を立ち上げた病院で精神看護にあたる、桑本康生さんに話を伺ってきました。



日当たけのいいデイルームで休まれている患者さんに、体調を尋ねる桑本さん。

患者さんが周囲に気兼ねなく
療養できる「ストレスケア病棟」

伊藤 草津病院は、瀬戸内海沿岸の地
域を活かした作りになつていて、海外
の病院のような印象を受けました。何
より、眺めがいいですね。

桑本 ここ（ストレスケア病棟のある
7階）からは、広島市街と瀬戸内海、
それから宮島が一望できます。
伊藤 全面に窓があつて、日も射して
いる。そもそも「ストレスケア病棟」というの
は、全国的に見ても20箇所くらいしか
なく、歴史も浅いですね。ここは、
いつできたのですか？

桑本 2000年です。全国でも早い
ほうだと思います。病床数は50床で、
17人の看護師が働いています。

伊藤 具体的にどういう方がどんな経
緯で入院されるのですか？

桑本 約7割がうつ病や神経症、パ
ソナル障害で、すでに一般病院の精神
科やメンタルクリニックに通院されて
いる方です。最近は高齢者のうつ病の
方も増えてきています。受診のきっかけ
は、個人でホームページを見て来る
方もいますが、病院などからの紹介も

精神看護では個室は
看護師の負担が大きいというが、
果たして本当にそうなのか。
草津病院の試みに期待したい。

少なくありません。

伊藤 ここでは患者さんはどのように
過ごされているのでしょうか。

桑本 基本的に、患者さんは自由に行
動できます。とはいっても、初めはとにかく
休息したいと、ベッドに横になつて
いる方が多いですね。徐々に回復して
くると、近くのショーフィングセンター
や宮島に行っています。食事や消防時
間こそ決まっていますが、希望があれば
外泊もできます。

伊藤 退院は？

桑本 退院は本人の希望があったとき
になります。入院前に医師と入院期間
を決めますが、それが前例になつた
り、延びたりすることもあります。今
の平均在院日数は55～65日くらいです。

病棟が個室という安心感

薬も使わず元気になるケースも



Profile

草津病院
ストレスケア病棟副主任
くわもと やすお
桑本 康生さん

島根県出身。1998年4月、草津病院に就職。
働きながら看護学校へ通い、2003年に看護師
免許を取得。問題病棟勤務後、2007年1月か
らストレスケア病棟勤務に。2009年、放送大
学卒業。現在はCNSを目指し、今年度の春よ
り大学院の単位を科目等修修する。



伊藤 ここに来て驚いたのは、精神科
の病棟でありながら、すべて個室という
ところです。精神看護としてはとても
興味深い試みですが、リスクが高いので
はないでしょうか。何より看護師にとつ
て、たいへんな現場ではありませんか？

桑本 患者さんのパーソナルスペースも
がすべて死角で、否死念慮がある患者
さんが少なくないので、初めはやっぱ

り不安でしたね。実際に働いてみると
意外と大丈夫でしたが、何より、患者
さんから「この病棟はいい」と言って
もらえることがうれしいです。

伊藤 何がいいのでしょうか。

桑本 私もそれが知りたくて、以前、
患者さんに聞いたんです。そうしたら、
「個室なので安心感がある」「開放的な
空間で、社会から離れる不安感がない」
と、プライバシーは守られますし、閉
鎖病棟とは違つて重症感がないので、
社会復帰できるかといふ不安を抱えな
くてすむようです。治療に専念できる
環境であり、「社会とつながる場」で
もあるのでしよう。

伊藤 健康な非日常ではない、ストレ
スケア病棟は重要な存在ですね。

桑本 最近は、社会から離れて過ごす
だけで、薬も使わず元気になる方もい
ます。ある患者さんは「頭の中にある
解決できないものを外された感じ」と

ストレス病棟の個室。瀬戸内海が一望できる部屋はまるでホテルのよう。



病棟に来た患者さんが
社会に戻り、復職を果たす。
桑本さんには、その架け橋の
要となつてほしい。



伊藤 ストレスケア病棟のようなど
ろがもつと多ければ、薬だけに頼る医
社会にどつても必要

伊藤 最近はうつ病の数値が低くな
った分、薬物による治療介入が積極的に
なってきています。薬を100%否定
するわけではないですが、安易に使う
べきではないですね。

桑本 この病棟は心理的な介入を中心と
するところですが、やっぱり薬物の問
題は避けられません。こうしたら
スープと症状がなくなつて。

伊藤 ここは、医師の治療に看護師がで
きている。いいことですね

桑本 医師との距離が割と近い印象が
あります。医師と話をするなかで、お
互いにヒントを与えて、もらつたり。
医師が今から何をしようとしているの
かがわかる現場だと思います。

伊藤 うつ病を思う人の社会復帰は
社会にどつても必要

話していました。環境要因で発症され
ているケースでは、そこから離れるだ
けで症状が改善します。

伊藤 ただ、環境は変わらないわけだ
から、戻つたときに再発するリスクは
ありますよね。

桑本 その通りです。ですから、入院
中には臨床心理士や作業療法士、看護
師による認知行動療法やカウンセリ
ングなどを受けてもらいます。また、
当院にはオリジナルの復職プログラム
があり、訪問看護などもしていますの
で、患者さんが社会復帰できるようサ
ポートしたり、退院後も支援を続けた
りすることもできます。

伊藤 先ほど、「パーソナルスペース
がすべて死角」と言つていましたが、
自傷や自殺防止として、どのような工
夫をされていますか。

桑本 入院前に患者さんと契約を交わ
します。その中には「自分を傷つけな
い」という項目もあります。また、「傷
つけなくなつたら、SOSを出してく

うつ病や高齢者の孤独…… 垣間見える社会の縮図

ださい」と話しています。それでも罪
悪感などで状況が迫切したら、一時
的に閉鎖病棟に入院してもらいます。

桑本 今こそ精神科が開かれてきて
おりませんか?

伊藤 今はまだたくなかつたです。
むしろ最近になつて、ここにいる人た
ちつて、私たちより辛せを感じる方が
強いんじゃないかなって思うようになり
ました。この前、ある患者さんが、「自
己はどうしようもない病気だけど、今
ア病棟はどういうところですか？」

桑本 社会の縮団のようなものですね。
患者さんは高齢化していますし、孤独
です。家庭環境が原因のうつ病やアル
コールの問題で来ている方も少なくあ
ります。

伊藤 精神看護は、看護師さんが目指
す道としては、あまり一般的ではない
ような気がしますが、なぜ、桑本さん
はこの道を選んだのですか？

桑本 小さい頃、たまたま自宅の近く
に精神科の病院があつたんです。患者
さんは地元の祭にも参加していて、金
魚すくいを教えてもらつたり、キャフ
チボールでカーブの投げ方を教えても
らつたりしました。今思つと、回復期
の患者さんだったのでしょうが、やさ
しい人たちというイメージしかなかつ
いません。

伊藤 精神看護は、看護師さんが目指
す道としては、あまり一般的ではない
ような気がしますが、なぜ、桑本さん
はこの道を選んだのですか？

桑本 小さい頃、たまたま自宅の近く
に精神科の病院があつたんです。患者
さんは地元の祭にも参加していて、金
魚すくいを教えてもらつたり、キャフ
チボールでカーブの投げ方を教えても
らつたりしました。今思つと、回復期
の患者さんだったのでしょうが、やさ
しい人たちというイメージしかなかつ
いません。

伊藤 自殺ですか？

桑本 そうです。そのときは、死に向
かわせるタイミングポイントがあった
のではなくかとか、関わっていく中で
方向を少しでも変えられたのではないか
とか、いろいろ考えてしまつて……。
もちろん、それでも救えなかつたかも

たですね。それで、精神科で働きたい
と思つたんです。

伊藤 今でこそ精神科が開かれてきて
います。20年ぐらい前の社会状況か
らすると、まだ偏見の目があつたので
ありますよ。

桑本 それはまったくなかつたです。
むしろ最近になつて、ここにいる人た
ちつて、私たちより辛せを感じる方が
強いんじゃないかなって思うようになり
ました。この前、ある患者さんが、「自
己はどうしようもない病気だけど、今
ア病棟はどういうところですか？」

伊藤 たた、精神看護って感情労働の
度合いがとくに強くはないですか？

桑本 無力感やシレンマを覚える」と
もあります。看護師となつて9年です
が、その間には親しい患者さんが亡く
なるものではないし、再発も、患者さ
んの死を経験することも少なくない。

伊藤 急性期の病気のように結果がすぐにわ
かるものではないし、再発も、患者さ
んの死を経験することも少なくない。

桑本 無力感やシレンマを覚える」と
もあります。看護師となつて9年です
が、その間には親しい患者さんが亡く
なることがあります。

伊藤 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

桑本 ありがとうございます。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの看護につながっていると思
いますよ。

伊藤 話は変わりますが、精神科での
向精神薬などの多剤投与が今、大きな
問題となっています。それについて、
桑本さんはどう思いますか？

桑本 私も問題視しています。複数の
向精神薬などを処方されていた患者さ
んへの